

熊本地震における木造住宅の倒壊分析

前震と本震による倒壊プロセスを再現する中からわかってきたこと

開催日時 ■ 平成 28 年 10 月 20 日 (木) 13:30 より

会 場 ■ 中央大学駿河台記念館 560 号室 [JR 御茶ノ水駅より徒歩約 3 分、他]

熊本地震は、前震、本震という震度 7 を二度観測している。この震度 7 クラスの地震が相次いで発生したことによって、木造住宅の構造の安全性に関して、再びその安全性の確保と基準の強化を求める顧客たちの声が強くなった。

しかし、どのようにして前震によってダメージを受け、本震によってだめ押しのような形で倒壊したのかは、許容応力度計算に基づいています、という回答だけでは安心、納得のいく答えとはならない。

今回は、現地調査も踏まえて、その倒壊プロセスや特徴的な地盤形状等についても調査研究を進め、また、木造住宅の構造の安全性が見える化できるソフト「wallstat」の開発者でもある国総研の中川貴文氏に、熊本地震において考えるべき構造の安全性とその見える化についてレクチャーいただきます。

是非、ご参加下さい。

工務店力向上ワークショップ コーディネーター 野辺 公一

■ プログラム ■

13:30 ~ 15:00

熊本地震における木造住宅の倒壊分析

国土技術政策総合研究所 建築研究部
基準認証システム研究室 主任研究官
中川 貴文 氏

- ・熊本地震の特徴
- ・なぜ 2000 年以降の住宅も倒れたのか
- ・倒壊プロセスを再現する
- ・地形、地盤的な特徴 他

15:10 ~ 17:00 質疑応答・討議

- ・wallstat を活用した構造の安全性の見える化とは
- ・顧客別にデータ管理をする工務店という新たなイメージ

17:15 ~ 懇親会

【お申込み方法】

下記の出席連絡票にて、平成 28 年 10 月 12 日 (水) までに SAREX 事務局までお申し込み下さい。

なお、参加のお申込み後、都合により参加できなくなった場合は必ず事務局までご連絡いただけますよう、ご協力をお願いいたします。

※参加費 = 正会員及び賛助会員：無料・準会員：10,000 円 / 人・会員外参加者：20,000 円 / 人

SAREX 事務局 行

FAX. 03-6425-3910

第 150 回ワークショップ出席連絡票 (平成 28 年 10 月 20 日開催)		
会 社 名		懇親会 (必ず○印をお付けください。)
参加者氏名		参 加 ・ 不参加
参加者氏名		参 加 ・ 不参加

【お問い合わせ】 住環境価値向上事業協同組合 (SAREX)

〒 158-0084 東京都世田谷区東玉川 2-15-13 TEL.03-6425-3909 / FAX.03-6425-3910 info@sarex.or.jp